



『周辺を薄景色にする強烈な二本の水柱』通潤橋(熊本県上益城郡山都町)

和田 淳

(元 株式会社東京建設コンサルタント)

20mの高さから流れ落ちる水の姿を、轟音とともに起立している二本の水柱として表現しました。また、この水柱を通して見る風景が、水飛沫により薄景色になっていることに着目し、石積みの力強い通潤橋と対比して描いてみました。



『川』(北海道留萌市)

櫻庭 均

(株式会社アイエスシイ 北海道事務所 所長)

1級河川留萌川は昭和63年に氾濫し、浸水家屋3,376戸という大きな被害が発生しました。その後、河川改修がなされ、洪水被害の発生はなくなりました。堤防には散策道が整備され、高校生の通学や市民の散歩など、多くの人に利用されています。